



# さとやま

## 今月の見どころ

## 里の冬鳥



上の写真は、一昨年の冬の雪景色です。今年は暖冬が予想されていますが、太平洋側では暖冬の方が雪の日が多くなります。今年もこんな風景が見られるかもしれません。

今年も昨年に続き、写真の反対側の小草池では、耐震工事のため水が抜かれ、カモなどの冬の水鳥の観察はできません。しかし冬に里にやって来る鳥は水鳥だけではありません。

ツグミはあちこちで見られ、鳴き声もよく聞かれます。夏になると声が聞こえなくなることから名が付いたと言われています。田んぼなどでちょこちょこ進んでは止まるという「だるまさんが転んだ」のような動きをします。

シロハラは、ツグミと生態が似ていますが、数は少ないようです。腹の部分が白いので名が付きました。

「おじぎ」のような仕草がかわいいジョウビタキは、翼に紋付のような斑点模様があり、オスは頭が白く、腹が鮮やかなオレンジ色で、メスは頭が褐色で腹や翼もくすんだ色です。「ジョウ」は銀髪を意味し、鳴き声が火打ち石を合わせる打撃音に似ていることから、「火炊き」と名付けられたそうです。

これらの鳥は、夏は大陸で繁殖して、日本に渡り越冬します。



ツグミ



シロハラ



ジョウビタキ

万灯山エリアでは、ルリビタキの姿を見かけます。オスは頭部から背中・翼・尾が青色で、メスは尾だけが青く、どちらも側面がオレンジ色です。ジョウビタキと似た声で鳴きます。夏は高山の森で繁殖し、低地で越冬します。

こんな冬の渡り鳥たちを探して、里を散策してみませんか。



ルリビタキ (オス)



ルリビタキ (メス)

## 12月の行事紹介



今年も歳神様をお迎えするために飾る「正月飾りをつくろう」の講座を12月22日(日)ネイチャーセンターにて開講しました。

当日は慣れないノコギリや斧で竹を割る作業は難しかったけれど、松や梅などの飾りつけはとても楽しく、令和最初の正月とあって、「みんなによいお正月が来ますように」と心を込めて竹器に飾りつけしました。受講者の真剣な顔も完成した時の笑顔がとても楽しそうで印象的でした。

## 1月の行事予定

- ・お花炭を焼いてみよう 1月19日(日) 午前9:30 ~ 11:30

## 2月の行事予定

- ・里山で冬鳥を見つけよう 2月9日(日) 午前9:00 ~ 11:30
- ※参加受付は、各行事2週間前の午前8時30分から先着順で来園・電話受付のみです。
- ・竹炭焼きⅠ(竹きり・竹割り) 2月22日(土) 午前9:30 ~ 11:30
- ・竹炭焼きⅡ(火入れ) 2月23日(日) 午前8:30 ~ 11:30

※竹炭焼きⅠ～Ⅲは、すべて参加できる方を優先に、参加の受付を2/8(土)から2/22(土)までの間、午前8時30分から先着順で来園・電話受付します。なおⅢの窯出しは、3月1日(日)に行います。

### 西尾いきものふれあいの里

ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

休日 毎週月曜日及び祝日の翌日 発行 西尾市環境部環境保全課